

第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

新居浜市立川東中学校

教諭 守谷 和洋

1. 単元名 「地域の一員としての自覚を育てる ～地域環境を考えることを通して～」

2. 単元の目標

- ・ 二宮金次郎像に込められた思いを学ぶことから、現代の教育の在り方を学び、さらには地域にある様々なモニュメントや建造物に込められた思いを理解することができる。

(知識・技能)

- ・ これからを生きる自分たちが、地域の様々なものに託された先人の思いをつなぐ意欲と態度を養うことができる。

(思考・判断・表現)

- ・ 地域の様々な文化遺産に触れ、地域の環境や風土に興味を持ち、これからの時代を担う一人としてどのようなことを大切に生活していけば良いのか考え、伝え合うことができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、「二宮金次郎像に込められた思い」、「現代の教育の在り方や考え方」、「地域・社会に残る様々な文化遺産等に込められた思い」を教材として取り上げる。

二宮金次郎像は、勤勉や孝行の象徴として日本全国の小学校などに多く建てられた。新居浜市にも2021年7月現在で、市内で10体の像が確認されていました。しかし、現代では、銅像が撤去されている学校も多くあります。理由は様々あるが、教育に対する価値観の変化が大きいのではないかと考える。

そこで、「今ならどのような銅像を建てるか」、「その他全国にある文化遺産や建造物にどのような思いが込められているか」などについて考え、これから自分について考えさせることでキャリア教育にもつなげることができる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、明るく、友達を大切にすることができる生徒が多い。しかし、学習に対しては、苦手意識や拒否をしている生徒が多く、学ぶことの必要性を理解していない生徒が多い。また、4小1中という事情から、集団としてのまとまりに欠ける。同じ川東校区、同じ新居浜に生きる一人としての自覚と、社会の一員としての責任を感じ、地域を大切に育てていく意欲と態度を身に付けるためにも、本教材を取り上げる意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、二宮金次郎像についてなぜ全国に広まったのか、なぜなくなっているのかを考え、学習の必要性や多様な教育観、学習環境のグローバル化を理解するなど、作成者の思いや課題について理解せたい。また、今の自分が銅像を建てるならどのような像を建てるのかを考え、それぞれが考えた像に対する思いやその課題を考え、伝え合わせた

後に、東京タワーや原爆ドーム、あかがねミュージアムなどの産業遺産や文化遺産、地域の建造物やモニュメントなどに込められ思いを考えさせたい。そして、世界や日本、地域の一員として、自分が今何を大切にし、どのように思いをつないでいくのかを考えさせたい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

多様性…一言で学習といっても様々な学びの場や手段がある。その中でグローバルな視点を持って世の中を見ること。

相互性…現在の地域の状況は、このまま何もしなければ世界に取り残されてしまう恐れがある。自分や周りの人、さらに下の子どもたちの世代まで安心・安全で幸せな生活が保たれるには、世の中の変化に柔軟に対応する必要があること。

連携性…これからの地域は、これまで先人たちが作り上げた生活や文化への思いを大切に受け継ぎながらも、グローバルな視点を取り入れ、様々な国籍や文化、宗教の人とつながり、発展させていかなければいけないこと。

・本学習で育てたいESDの資質・能力

未来像を予測して計画を立てる力

人口減少と人口の県外流出が問題となる中で、これからの新居浜市を予測し、安心・安全で一人一人が幸せを感じられるようなまちづくりについて計画する。

多面的・総合的に考える力

今、目の前の物事にだけ考えるのではなく、地域情勢や世界情勢に目を向けて、地域の存続や発展について考える。

コミュニケーションを行う力

今、地域にいる様々な年代や国籍、文化や宗教の人とのつながり方を理解し発信する。

つながりを尊重する力

これまで地域を支え作り上げてきた先人の思いを心で受け止め、これからの子どもたちに思いをつなげる使命感を持って他とのつながりを尊重しようとする。

・本学習で変容を促すESDの価値観

世代内の公正

今の新居浜市があるのは先人の努力と思いがあってこそであることを理解し、皆が安心・安全に過ごせるまちづくりが大切である。

人権・文化を尊重する

先人の思いを受け継ぎ、ものづくりのまち新居浜の更なる発展には、様々な国籍や文化、宗教の人とのつながりが大切である。

・達成が期待されるSDGs

4 教育

11 まちづくり

17 グローバル・パートナーシップ

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>① 学習することの重要性を理解し、学習内容や学方法、学習環境の多様化について理解している。</p> <p>② 学んだり、調べたりして獲得した知識を、スライド等にまとめる技能を身に付けている。</p>	<p>① 先人たちの残してきた文化遺産や建造物への思いを知り、皆が安心・安全に生活できるまちづくりの方策を考えている。</p> <p>② 次の世代へ先人たちの思いを伝えるために、自分ができることを考え、伝えている。</p>	<p>① 学びの多様化を理解し、これから自分が何をどのように学んでいくのかを模索しようとしている。</p> <p>② 先人の思いを知り、新居浜をよりよくする方策を発信しようとしている。</p> <p>③ 様々な国籍や文化、宗教の人と協力して地域を発展させる方法を模索しようとしている。</p>

5. 単元の指導計画（全5時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価（△） 備考（・）
1	<p>・二宮金次郎像について考え、学びのグローバル化について確認する。</p>	<p>・二宮金次郎像の写真を提示し、込められた思いを考えさせ、なぜなくなってきたのかについても考えさせる。</p>	<p>ア① (知・技)</p>
2	<p>・今、自分ならどのような像を建てるのか考え、スライド等で実際に書かせて学級内で共有する。</p>	<p>・教師が具体例を示し、自由な発想で、グローバルな世界をイメージさせる。</p>	<p>ア② (知・技) ウ① (主体的)</p>
3	<p>・世の中や地域にある文化遺産や建造物、モニュメントに込められた思いについて調べてまとめる。</p>	<p>・原爆ドームや東京タワーなどの写真を提示し、それぞれの歴史や込められた思いについて考えさせる。</p>	<p>ア② (知・技) イ① (思判表)</p>
4	<p>・新居浜にある文化遺産や建造物、モニュメントなどを調べ、まとめる。</p>	<p>・新居浜駅前広場にあるモニュメントやあかがねミュージアムなど、新居浜市内にあるモニュメントや建造物について調べ、スライド等にまとめさせる。</p>	<p>ア② (知・技) イ① (思判表)</p>

5	<ul style="list-style-type: none"> ・今の新居浜を支えている職業やそこで働く多くの人について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の新居浜は多くの国籍や文化、宗教の人が集まって仕事をし、地域を支えていることを理解させ、共生について考えさせる中で、安心・安全なまちづくりと、地域の更なる発展に向けての自分の役割を考えさせる。 	ウ②③ (思判表)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの自分たちにできることや、大切にしていきたいことについて、班や学級で考えを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ方を助言し、相手に分かりやすく伝える工夫（ジェスチャー等）を指導する。 ・これからの自分や新居浜の未来について、分かりやすくまとめているか評価する。 	ア② (知・技) イ② (思判表) ウ② (主体的)
7	<ul style="list-style-type: none"> ・活動全体を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ESDの視点やSDGsとの関連について確認する。 	